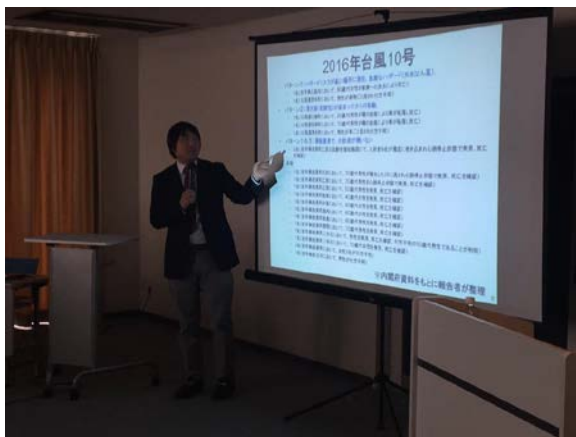


## 平成 28 年度中小河川の防災研修にて講義しました(2017/2/3)

テーマ：水害、災害情報  
場所：仙都会館（仙台市青葉区）

2月3日（金）、仙都会館を会場として、平成28年度中小河川の防災対策研修実行委員会（事務局：埼玉県県土整備部河川砂防課）の主催・光栄財団法人河川財団の助成による「平成28年度中小河川の防災対策研修」が開催されました。本研修会は、河川関係の業務を担当する都道府県、市町村及び諸団体等の職員等を主な対象にして、中小河川における防災対策に必要な実務的な知識を習得させ、また河川事業実施によるストック効果について共に学び議論する場を設けることにより、河川管理・防災対策の強化・充実に役立て、技術力の研鑽に努めてもらうことを意図して開催されたものになります。

研修会は、講義、基調講演、パネルディスカッションの3部構成で行われました。当研究所の佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）は、第1部の講義で「人的被害の発生を軽減する災害情報の現状と限界—2015年台風18号と2016年台風10号を例にして—」という題目で災害情報学の観点からの講義を行うとともに、第3部のパネルディスカッションで登壇し、国・県・河川管理者や気象関係者との総合討論を行いました。パネリストからだけでなく、会場からも活発な議論が行われました。当日は雪の天候にも関わらず、盛会のうちに終わりました。



佐藤翔輔助教



パネルディスカッションの様子

写真提供：平成28年度中小河川の防災対策研修実行委員会

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）